

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	笠原 豊晴	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9031		事務事業名称		短期人間ドック助成事業					短縮コード		経常		臨時	9031	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	06	保健事業費		項	01	保健事業費		目	01	保健衛生普及費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		国民健康保険法第8 2条 八千代市国民健康保険短期人間ドック事業の利用に関する助成要綱									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
平成5年7月より、健康増進を図り、病気の早期発見及び予防を目的として事業を開始。 満35歳以上の被保険者が市登録医療機関で受検する短期人間ドックについて、その検査費用の一部を助成する。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして								
人間ドック利用者が増えつつあり、人間ドックの利用に際して健康への関心を深めていただくことで、健康意識の高揚、ひいては医療費抑制に寄与するものと考える。						大項目（節）	03	社会保障								
						中 項 目	01	国民健康保険								
						小項目（施策）	02	広報・保健事業の推進								
						細 項 目	02	予防活動の推進								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	国民健康保険に1年以上加入している満3 5歳以上の被保険者であること、また前年度利用後1年以上経過していること、かつ同居世帯に保険料の未納がないこと									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 受診申込み → 人間ドック利用券（承認書）交付 → 検査医療機関・受診日の決定 → 受検 → （市へ）検査結果及び請求書の送付									
	※平成20年度に計画していること： 平成1 9年度とほぼ同様に予定しているが、平成20年度より特定健康診査が実施されるので、人間ドック利用券交付時における特定健康診査受診券の回収									
意図 （何を狙っているのか）	国民健康保険被保険者の健康の保持・増進を図る									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	国民健康保険被保険者数	人	63, 049	62, 961	62, 703	52, 740			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	短期人間ドック事業利用件数	件	364	360	457	480			
	指標 2									
	指標 3									
成果指標	指標 1	受検者数／利用申請者数	%	91	100	92. 5	100			
	指標 2									
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード	9031	事務事業名称	短期人間ドック助成事業			所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			成人保健事業との連携強化により、有効性の向上を目指す。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			人間ドックの利用者増加に伴い、経費(助成額等)の負担増が見込まれる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☐	☒	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
東京女子医科大学附属八千代医療センターの新設に伴い、検査医療機関として人間ドック取り扱いへの要望あり。							

所属長コメント	平成20年度は、後期高齢者医療制度へ75歳以上の方が移行することから、人間ドックの利用者数は減ることが想定されるが、引き続き、事業を継続し、利用率の向上に努めていく。						
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続		成人保健事業との連携強化により、有効性の向上を図るべき。				
	☒ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							